

急な事故や病気で入院で、慌てた経験はありませんか。

さらに最近では、入院したばかりと思っても、すぐに退院の準備を始めることが多くなっています。退院してからどう生活するのか、何を準備すればいいのか、短い期間の中で考えるのは難しいものです。

そんな時、病院には退院をサポートしてくれる専門職がいらっしゃいます。今回は、松阪市内にある3つの総合病院の退院支援を取り上げた勉強会に参加し、お話を伺ってきました。

インタビュー

退院時のサポート 退院調整看護師・医療ソーシャルワーカーの役割



済生会松阪総合病院・松阪中央総合病院・松阪市民病院
退院調整看護師・医療ソーシャルワーカーの皆さん

退院調整看護師・ 医療ソーシャルワーカーの役割

退院調整看護師や医療ソーシャルワーカーは、入院した患者さんやそのご家族が安心して退院できるように病院と地域の関係職種と連携し、必要に応じて福祉サービス等の利用につなげる役割を持っています。

例えば、患者さんが入院している間に、関係者を集めて会議を開き、退院後の生活の予測や支援の必要性を判断し、退院支援計画書を作成します。

そして、医師や看護師、ケアマネジャー等の関係職種間で情報共有し、場合によっては退院前に住まいの訪問など

を行います。

退院後、自宅に戻る人、新しく施設へ入所される人、転院・転所される人など、状況はさまざまです。どんな場合でも、患者さんを中心に、「退院後はどんな生活をしたかったのか」「安心して生活するために何が必要か」などを大切にして支援をされています。

退院支援における課題

入院した人が安心して退院するための支援は、救急医療を必要とする人を適切なタイミングで受け入れるための支援でもあります。

「入院したばかりなのに早々に退院さ



令和2年2月開催 多職種勉強会の様子

せられてしまった」と感じる人もいるかもしれませんが、「急性期医療」を終えた患者さんの入院が長引くということは、救急患者さんの受け入れを困難にしてしまうことでもあります。

松阪市やその近辺の救急医療体制を維持していくためには、病院個々の努力だけで解決するのはとても困難なことです。松阪地域というひとつのチームの中の専門職として、今後も住民のみならず、入院した時の支えとなっていたいただける意気込みを感じる事ができた勉強会でした。

【問】 高齢者支援課 ☎53-4099